

小金井市学校施設長寿命化計画改定版（案）に対する意見及び検討結果について

意見募集期間：令和8年1月23日から2月24日まで

意見提出数：8人・18件

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
1	p. 18～20 第3章 5 学校施設の老朽化 状況	非構造部材耐震化の現状はどうでしょうか？部位改修で改善する計画でしょうか？ (スチール→アルミサッシ)	平成25年度から平成30年度にかけて、市立小中学校全校の非構造部材の耐震点検・耐震対策を実施しております。
2	p. 20 第3章 5 学校施設の老朽化 状況	コンクリート中性化に係る調査はないでしょうか？(特に露筋のあるアゲウラ面)	平成8年度から平成18年度にかけて実施した耐震診断において、外壁等コンクリートの中性化深さの測定試験や建物外観の目視調査等を行っておりますが、アゲウラ（上裏）面の中性化深さは測定しておりません。 なお、特定建築物等定期調査において3年に1回の目視点検及び10年に1回の外壁等の全面調査を行っております。
3	p. 21～24 第3章 5 学校施設の老朽化 状況	躯体の圧縮強度の調査はH15頃のようなのですが、現在までかわらないものでしょうか？	コンクリートの圧縮強度については、経年劣化による低下が懸念されます。各校の建替えや長寿命化改修等の設計時において、既存の詳細調査を実施し、直近の状況確認を実施いたします。
4	p. 28 第4章 2 学校施設整備方針	地域協働活動の拠点として学校を考えることは極めて重要で、その意義の記載に関しては同意するところではありますが、単に場所を指定すれば人が集まるわけでも、活動が生まれるわけでもありません。地域に取って、どういう場所があれば、地域学校協働	

		<p>活動が盛んになるのか。地域住民と学校・行政でワークショップを開くなどの取り組みが必要です。</p> <p>明石市では、集会所を小学校に併設し、地域住民と小学校の交流が生まれるような仕組みを作っており、人々の主体性や協働性を生むにはどのような仕組みが必要かの検討が浅いと感じます。 https://www.city.akashi.lg.jp/community/s_kyoudou_shitsu/kurashi/community_machizukuri_shimin/shisetsu/shogakko/index.html</p> <p>有名な秋津コミュニティでも、地域の方が、公民館ではなく学校で活動をすることで交流が生まれてきます。となると、学校側の副校長が1人では足りなくなり、地域担当で学校協働を行う教員・もしくは社会教育人財が、地域と学校をつなぐ仕掛が必要となります。学校を建て替えるのではなく、学校を地域の拠点。地域教育を呼び込む仕掛をつくらなくては、単なる施設の建て替えに終わってしまいます。</p> <p>安平町では、時間を区切って調理室や技術室を学校・地域と使えるように、ITで制御しています。また地域の図書室として学校の図書室を開放。子どもたちと地域の人が交流できる場にしていきます（静かにもくもくと読むエリアは別につくり、図書室は交流の場に設定）</p> <p>公共施設の在り方の検討とあわせて、学校に公共施設をあわせることで、地域の人が入り出できる場にすべきです。（警備の課題は工夫次第でどうにでもなります）そういう意味で考え方の記述は、とても良いのですが、もっと未来や公共施設の在り方も加えての表現にすべきではないでしょうか。（具体性や例示が足りない・・・つまりやらなくても逃げられる書きぶりなのは考えすぎでしょうか）</p>	
5	p. 28	義務教育は国家、文化の根底であり、コンクリートのヒビを直	本改定版（案）は、今後の学校施設を将来にわたって

	<p>第4章 2 学校施設整備方針</p>	<p>せば良いと言うものではない。例えば日本の大学のイメージが東大の講堂を思い浮かべるように、加えて感受性の豊かな幼少期に日々目にする、生活する、教育を受ける建築物にはむしろ、文化的な側面を持たせる維持すべきような学校建築物であるべきではないか。リストに載るものだけで終わりにしないで、足繁く市の職員と、市議員が現地を見て判断すべき所もあると思う。逆に、リストに有るから必要と言うわけでもなく、たとえば自身小学校のプールは小学校、中学が共用であった。</p> <p>二宮金次郎や樹木などのように、積極的に寄付やクラウドファンディングも匿名で活用すべきでは無かろうか。</p> <p>加えて、昨今は不審者対応やトラブル対応などで外へ消極的で、一般住人に学校建屋の実情が目に触れる機会が減ったことも課題ではないか。週末は行政主導で（市営スポーツセンターや公園、体育館の様に）学校設備を活用したり、消費を誘導しそこから生まれる予算を循環するなど、挑戦も必要ではないか。</p> <p>最後に、1住人として、駅前の商業施設などよりも子どものために、学校の修繕や建設にはより積極的に我々の税金を投入してほしいと思います。</p>	<p>長く使い続けるため、また、施設の維持管理や更新を適切に行っていくために作成しております。</p> <p>ご指摘いただきました事項については、今後の課題とさせていただきます、各校の建替えや長寿命化改修等の計画・設計段階において、具体的な実施手法等を検討してまいります。</p>
6	<p>p. 28～33 第4章 2 学校施設整備方針</p>	<p>放課後児童対策パッケージ2026にて、学校施設の活用が明記されている点を踏まえて、限られた敷地の中で柔軟な施設活用ができる様に、建て替え時だけでなく部分的な補強に合わせて普通教室の改修など計画には含めて検討いただきたいです。</p>	<p>本改定版（案）では、学校施設の目指すべき姿に「地域とともにある施設」を、また、整備方針の中では、「児童の放課後の居場所としての施設の整備」を掲げております。引き続き限られた施設資源を有効に活用できるよう、適切な施設整備に努めてまいります。</p>
7	<p>p. 28～36 第4章 2 学校施設整備方針</p>	<p>少子化による児童数減少の中、平成28年からは増加傾向にあるという事実を知りました。駅周辺の再開発や学校の教育方針や評判等によるものだと聞きました。学校の施設が児童の生命を守り抜く安心安全な設備であることを願います。昨今、いろいろな災害にみまわれる中、防災拠点としての役割、すべての人に優し</p>	<p>本計画にある目指すべき姿、整備方針に基づき、各学校の建替え、長寿命化改修を進めてまいりたいと考えております。</p>

		く、地域と共にある施設が必要になると思います。学校施設長寿命化計画が円滑に進むことを願います。	
8	p. 29 第4章 2 学校施設整備方針	長寿命化に適さない低圧縮強度の建物（7棟）に対する優先的な建替え方針や、外壁のモルタル剥離や露筋といった危険箇所（D評価）に対する早急な対応を強く支持します。建替えや長寿命化改修まで10年以上期間が空く学校の部位修繕を先行して行うとする方針については、児童生徒の命に関わる最優先事項として、計画の遅れが生じないよう確実な推進を要望します。	本計画にある目指すべき姿、整備方針に基づき、各学校の建替え、長寿命化改修を進めてまいりたいと考えております。
9	p. 31 第4章 2 学校施設整備方針	トイレの洋式化は100%でしょうか。敢えて和式を残す考えはあるでしょうか？	トイレの洋式化については、令和8年度3月時点で82%となっており、引き続き洋便器化を進めてまいります。
10	p. 31 第4章 2 学校施設整備方針	<p>「多様な学習・活動を支える施設の整備」について。別室登校専用教室・専用スペースの、市立学校全校での設置を求めます。その前提で、校舎を整備してください。</p> <p>現在は、市立学校の中に、別室が設置されている学校と、空き教室が無いという事情で設置不可と判断されている学校があります。別室が無いと、別室指導員・別室支援員の配置もありません。学校へ行きづらい子・教室へ入りづらい子の保護者同士が会う機会も、別室利用児保護者会・別室に関心のある保護者と学校の懇談会がある学校と、無い学校では、確実に、差があります。ソフト面での、登校しぶり・不登校の対応・支援は、校長や担任の姿勢や方針で、さらに差が広がります。（我が家の不登校児の在籍校は、「無い」ほうの学校です。「ある」ほうの市内他校の様子を聞いて、落胆しております。）</p> <p>府中市は、市立学校全校で、「サポートルーム」を設置したと伺っております。調布市も、「調布市不登校児童・生徒支援プラン」を策定し、その中で、「校内教育支援センター（ステップルーム等）の全校設置」を掲げています。小金井市でも、「全校設</p>	「校内教育支援センター」は、今後、全校に設置するとともに、学校内での居場所づくりや支援体制について、現場の状況や人員配置の課題を踏まえつつ、対応してまいります。

		置」を明確にした前提で、建て替えや増築の計画を立てていただきたいです。不登校支援全般については、他の教育プラン等の計画で検討・策定されるものとは理解しておりますが、ハード面でも、しっかりと前提に含めて進めていただきたく、意見を送りました。何卒よろしく願いいたします。	
1 1	p. 3 2 第4章2 学校施設整備方針	(3) ①防災拠点としての機能の整備について、昨夏の体育館での説明会の際、暑さが厳しかった。断熱性能強化等、早急に対応を求めます。	市内の公立小中学校においては、すべての体育館に冷房設備を設置しており、今後は、断熱性能強化が課題であると認識しております。
1 2	p. 3 2 第4章2 学校施設整備方針	(4) ①カームダウンスペース、寝転んで落ち着ける場所など、様々な個性を持つ子どもが過ごしやすい学校施設を設計してください。	本計画にある目指すべき姿、整備方針に基づき、各学校の建替え、長寿命化改修を進めてまいりたいと考えております。
1 3	p. 3 3 第4章 2 学校施設整備方針	(5) ①放課後の居場所として、タイムシェアしやすい施設設計をお願いします。	本計画にある目指すべき姿、整備方針に基づき、各学校の建替え、長寿命化改修を進めてまいりたいと考えております。 また、放課後の居場所づくりについて、限られた施設人材を有効に活用しながらより多くの子供が安心して過ごせる環境の整備に努めてまいります。
1 4	p. 3 4 第4章2 学校施設整備方針	(5) 地域とともにある施設というカテゴリの中で、⑤「総合的なプールの在り方を検討します」との記載があるが、小学生の授業を屋内プールで試行する取り組み以外の検討状況が見えてこない。学校施設維持の視点だけではなく、生涯学習や健康増進との関係も出てくる課題だと思うので、早急に検討体制を構築して検討してほしい。	屋内プールでの試行のほか、今後は、全小学校の学校プールで行う水泳授業の一部に水泳指導専門インストラクターを派遣する事業を行うなど、児童が大人になっても水泳に親しみ、健康増進にも寄与できるような取組を進めてまいります。
1 5	p. 3 4 第4章2 学校施設整備方針	(6) 環境にやさしい施設 ①再生可能エネルギーの導入を図り、ZEB化を目指します、との記載は評価できるし、積極的に取り組んでいただきたい。	本計画にある目指すべき姿、整備方針に基づき、各学校の建替え、長寿命化改修を進めてまいりたいと考えております。
1 6	p. 3 6	バリアフリーに係るスロープの設置など段差解消の状況はど	門から建物までの経路、昇降口・玄関から事務室まで

	第4章3 施設整備の水準	うでしょうか？また、Low-E 複層ガラスは従来の強化ガラスと比較して飛散時の安全性に配慮できるものでしょうか？	の経路においては多くの学校でスロープを設置し、車いすで移動可能な状況です。今後の建替えや長寿命化改修等の際には、だれもが使いやすい施設へと更新する予定です。また、Low-E 複層ガラスについても、学校用強化ガラスと Low-E 強化ガラスによる複層ガラスにするなど、安全に配慮してまいります。また、飛散防止フィルムによる、安全対策も検討してまいります。
17	p. 36 第4章3 施設整備の水準	給排水設備の更新計画は機器のみか管を含めてでしょうか？給水の赤錆等、排水の水漏れ等があった場合は応急的な対応でしょうか？	長寿命化改修における給排水設備の更新においては、原則として、機器及び配管の更新を想定しておりますが、設計時における既存の調査により必要な対応を実施してまいります。 また、赤水や排水漏れ等については、原因調査、改修内容の検討等を経て、緊急性の高いものについては適宜修繕しております。
18	p. 38 第5章2 10年間の実施計画案	建て替えを見据えて修繕やトイレ改修等を極力控えてきた小学校もあったとのことですが、建て替え(ハード面のアプローチ)待ちとなることなく、清掃やメンテナンスのソフト面でのアプローチも加えながら、どの学校でも快適・衛生的な環境がはかれるように引き続き、ご検討お願いします。	建替えまでの間、トイレ等を含めた教育環境、生活環境の改善について、引き続き対応を図ってまいります。

※提出された意見は、原則として全文を掲載します。